

11. 安全施工ポイント

工 事 名	
施 工 会 社	(
使 用 機 械	
器 具・工 具	
使 用 材 料	
保 護 具	
必 要 資 格	
	作業内容・ポイント
	安 全 ・ 注 意 ・ 確 認 事 項
1	加工前準備
(1) 作業指揮者（職長）の任命	<ul style="list-style-type: none"> ①安全・衛生・施工管理を率先して行い、全作業員に対し主旨を説明し周知徹底させる。 ②各作業員の服装・健康状態を常に確認し、適切な指示を行なう。 ③器具・工具・設備の点検を常に行ない、事故を未然に防ぐ。 ④日々の作業における変更・確認・調整の打合せ窓口となり、その都度作業員に対して、指示伝達を行なう。
(2) 所在地・経路	<ul style="list-style-type: none"> ①車両運転責任者の専任 ②車両規制・駐車場・待機場の確認 ③通勤ルート・周知施設の確認
(3) 安全带・服装の整備	<ul style="list-style-type: none"> ①安全带・ヘルメットに破損箇所がないか確認し、不良品は交換する。 ②服装が作業を行なう上で、適しているか確認し、且つ指導する。 ③安全靴は、底減り・破れがないか確認し、不良品は交換させる。
(4) 現場環境の把握	<ul style="list-style-type: none"> ①現場の立地状況・周辺地区との条件等を事前に確認する。 ②安全通路・昇降設備の確認を事前に行い、作業員に報告し使用の徹底に努める。 ③揚重機の配置・能力の確認 ④搬入材料のストックヤードの確認 ⑤現場施工上で工区割りのある時は、事前に確認し搬入・施工計画に反映させる。

	作業内容・ポイント	安全・注意・確認事項
2	作業開始前	
	(1) 朝礼・昼礼への参加	<p>①開始5分前には、会場に集合し準備する。</p> <p>②ラジオ体操にて十分体をほぐす。</p> <p>③各作業内容・危険注意事項は職長だけでなく、全作業員で聞く。</p>
	(2) 新規入場者教育の実施	<p>①記入もれの無い様、事前に教育を行なう。</p> <p>②健康状態は、正確に報告する</p> <p>③現場概要説明は、真剣に聞き不明な点は、担当職員に必ず確認する。</p>
	(3) KYK・TBMの実施	<p>①当日の作業内容・手順を全作業員にボード・図面を使い伝達する。その際、職長は作業員の理解度を必ず確認する。</p> <p>②危険予知活動は、全作業員から潜む危険を発表させ全員で対策を考える。併せて当日の危険箇所、立入禁止場所等も全員で確認する。</p> <p>③職長は、作業員の服装・健康状態を再度確認する。</p>
	(4) 使用工具・器具の作業前点検	<p>①正しい手順で組立を行い、取付・締付け・不備がないかチェックし安全設備が正しく作動するか必ず確認する。又、日々の試運転は必ず実施する。</p> <p>②不良品が発見された場合は、直ちに排除又は終結し使用する。</p>
	(5) 安全設備・立入禁止の確認	<p>①水平・垂直ネット及び親網の張り状態を確認し、不足があれば職員と打合せし対処を要請する。</p> <p>②立入禁止区域の確認を日々実施する。 また、危険な場所が確認された場合は、速やかに対処を要請する。</p> <p>③昇降設備の場所を確認し、全作業員に使用の徹底を指示する。</p>

	作業内容・ポイント	安全・注意・確認事項
3	施工開始 (1) 工場加工 (2) 材料搬入時の確認 (3) 揚重・玉掛け作業	<p>①加工機・切断機の始業前点検を確実にしない、取扱手順を再確認する。</p> <p>②加工絵符に従い、材料を正確に仕分け加工を行なう。その際、機械での挟まれ・裂傷災害などの無い様に、手元に注意する。</p> <p>③加工後、製品は場内揚重機を使用して、ストックヤードへ移動・積込みする。その際、有資格者で作業を行い必ず事前に玉掛けワイヤーの点検をする。</p> <p>①オーダーどおりの材料が搬入されているか、搬入時に納品チェックを行なう。</p> <p>②工場加工の場合は、加工絵符と施工図で十分に照合確認する。</p> <p>①仮置きヤードを事前に打合せ確認し、車両搬入ルート・ゲートの指示を行なう。</p> <p>②揚重機的能力（吊り上げ制限荷重・作業半径）を確認し能力範囲内での揚重作業を厳守し行なう。</p> <p>③玉掛け合図・作業は、必ず有資格者にて行い、且つ専任者を任命する。</p> <p>④玉掛け合図者は下記事項を厳守する。 イ) 玉掛けワイヤー・シャックルは、用途に合った部材を使用する。 ロ) ゼネコンから許可を得ていない治具の使用及び吊り上げ方法は行なわない。 ハ) 合図は、オペレーターが分かるよう、大きな合図ではっきりと行なう。 ニ) 死角は絶対に作らない。発生する場合は、無線を各々携帯するか監視人を配置する。</p> <p>⑤荷取り合図者は下記の事項を厳守する。 イ) 合図は、オペレーターに分かるよう、大きな合図ではっきりと行なう。 ロ) オペレーターから確認できない場所へ荷を降ろす場合は無線を使い、且つ細かい指示を与える。 ハ) 荷降ろし後、巻き上げをする時はオペレーターが玉掛けワイヤーを確認できる位置まで指示を与える。</p>

	作業内容・ポイント	安全・注意・確認事項
3	施工開始	
	(4) 玉掛け作業終了	<p>①オペレーターに対し、作業が終了したことを必ず報告する。</p> <p>②玉掛けワイヤー・シャックルは、所定の場所へ返却する。その際は、痛みが確認された場合は、ゼネコン職員に必ず報告し交換を要請する。</p>
	(5) 作業開始	<p>①施工図に従い所定の位置に材料を配置する。長尺物運搬時には必ず二人一組にて行なう。</p> <p>②構造・部位等により材料の配置方法が若干異なる場合は、都度作業員との確認をする。</p> <p>③揚重機による材料配置は、より早く、且つ安全に作業を進めることが出来る様、必ず専任有資格者にて作業を行なう。</p>
	(6) 配筋・組立	<p>①施工図に従い所定の位置に材料を配置する。長尺物運搬時には必ず二人一組にて行なう。</p> <p>②作業床のない場所での配筋は絶対に行なわない。その際は、速やかに職長及び職員に報告し、適切な対処を要請する。</p> <p>③高所作業を行なう場合は、適切な仮設が設けられているかを事前にチェックし、確認後作業員を配置する。</p> <p>④鉄筋工事標準仕様書の内容を作業員全員に事前に教育・指導し周知徹底させた上で作業に従事させる。</p>
	(7) 特殊工法による組立	<p>①部位による特殊工法での組立を行なう場合は、事前に施工計画案を作成し、ゼネコン職員立会いのもと施工計画会議を開催し、組立作業に反映させる。</p> <p>②特殊工法に伴う安全設備・置き場吊り治具・仮設等計画案をまとめる。</p> <p>③特殊工法に取り組む前に施工会議を開催し、危険注意事項・施工上の特殊及び手順を作業員全員に指示指導し周知徹底させる。</p>

	作業内容・ポイント	安全・注意・確認事項
4	施工完了	
	(1) 施工完了後自主検査	<p>①配筋完了後、速やかに自主チェックシートにて配筋検査を実施する。</p> <p>②特に、定着・継手長さ・かぶりは重要となる為、要チェックする。</p> <p>③不適合と認められた箇所については、その内容をチェックシートに記入し速やかに訂正する。</p>
	(2) 施工完了箇所の整理 整頓	<p>①発生した残材は、その日の内に現場内指定場所か、スクラップ缶に集積し、工場へ返却する。</p> <p>②使用材は、まとめて集積し結束を行い、散乱を防ぐ。</p>
	(3) 使用工具の整理・	<p>①引き続き作業がある場合でも放置せず、工具は必ず片付ける。</p> <p>②作業上やむなく一時的に仮設をバラス場合は、その作業終了後直ちに必ず復旧する。また、事前にゼネコン職員にその主旨を報告し了承を受けておく。</p> <p>③使用した機械・工具は、作業終了後整理整頓をし、所定の場所に保管する。</p>

12. 配筋検査要領

配筋完了後、下記の事項を重点ポイントとして自主検査をする。

- ※ 径・本数のチェック
- ※ 鉄筋ピッチ及びかぶりスペーサーの配置
- ※ 定着・継手の位置と長さ及び折り曲げフック
- ※ 補強筋・差し筋
- ※ 結束の状態
- ※ 設備配筋後の配筋のみだれ

不良箇所は速やかに修正する。

チェック表は、別紙による。

検査は、担当係員と当社職長にて実施することを原則とする。

13. 鉄筋工事自主検査表

ゼネコン		施工業者	(株) 駒井興業
工事名			
施工場所			
検査範囲		実施月日	平成 年 月 日

検査結果事項

部 位	是 正 項 目		是 正 日
検査担当	職 長		平成 年 月 日
			是正事項確認 元請担当者
			印

基礎鉄筋工事

株式会社 駒井興業

項目	検査事項	日付	良否	是正項目
フーチング	・基礎フーチング配筋の見栄えは良いか			
	・ベース筋のかぶりは厚さは適切か(mm)			
	・ベース、フーチングの定着、継手は適切か			
	・はかま筋のかぶり厚さは適切か (mm)			
	・杭筋のフーチング内かぶりは適切か			
耐圧版	・耐圧スラブ配筋の見栄えは良いか			
	・耐圧スラブ上下筋のかぶり厚さは適切か			
	・耐圧スラブの定着、アンカーの位置は適切か			
	・配筋ピッチは、構造仕様書通りか			
	・継手位置は、構造仕様書に定める位置か			
基礎梁	・基礎梁配筋の見栄えは良いか			
	・主筋の強度・径・本数・間隔は適切か			
	・柱・梁内の定着寸法とアンカー位置は適切か			
	・トップ筋の位置と本数・長さは良いか			
	・継手位置は、構造仕様書に定める位置か			
	・スターラップの径・加工・ピッチ、巻き始め位置			
	・開口等の補強要領は適切か			
	・スターラップのかぶり厚さは適切か			
	・腹筋、巾止めの位置、ピッチは適切か			
基礎柱	・基礎柱配筋の見栄えは良いか			
	・主筋の強度・径・本数・間隔は適切か			
	・アンカーの向きは適切か			
	・フープの径、加工、ピッチ、巻き始め位置			
	・フープのかぶり厚さは適切か			
	・基礎柱の倒れは無い			

鉄筋工事(柱)

株式会社 駒井興業

検査日		平成 年 月 日 ()				検査担当			
階数		楷		工区					
柱記号									是正項目
主 筋	径								
	本数								
	配置(2段筋)								
	主筋間隔								
	柱脚筋位置								
	定着								
	継手位置								
	主筋強度								
フ ー プ	径								
	ピッチ								
	スタート・エンド								
	加工形状								
	スペーサー								
	中子位置・本数								
	中子フック								
全 体	見栄え								

鉄筋工事(壁)

株式会社 駒井興業

検査日		平成 年 月 日 ()			検査担当				
階数		楷		工区					
壁記号								是正項目	
差	径								
	ピッチ								
	かぶり厚さ								
	位置確認								
筋									
壁配筋	径								
	ピッチ								
	スタート・エンド								
	継手位置								
	定着								
	壁交差部補強筋								
	アンカー定着								
	巾止め								
	スペーサー								
	かぶり厚さ								
開口補強	径								
	本数								
	位置								
	ひび割れ防止筋								

鉄筋工事(梁)

株式会社 駒井興業

検査日		平成 年 月 日 ()			検査担当				
階数		楷		工区					
梁記号									是正項目
主筋	径								
	本数(上筋)								
	本数(下筋)								
	トップ筋本数								
	トップ筋長さ								
	定着長さ								
	継手位置								
	主筋強度								
	間隔・あき								
スタ ー ラ ツ プ	径								
	ピッチ								
	加工形状								
	巻き始め								
	中子確認								
	腹筋位置								
	巾止めピッチ								
開 口 補 強	径								
	本数								

鉄筋工事（スラブ）

株式会社 駒井興業

検査日	平成 年 月 日 ()				検査担当					
階数	楷		工区							
スラブ記号										是正項目
ス ラ ブ 配 筋	径									
	ピッチ									
	スタートエンド									
	定着（下筋）									
	定着（上筋）									
	継手位置									
	継手方法									
	かぶり厚さ									
	段差部配筋									
	トップ筋位置									
	片持スラブ補強									
	隅角部補強筋									
	スペーサー									
	PC鋼線位置									
PC光線本数										
開 口 補 強	径									
	本数									
	ひび割れ防止筋									

14. 自主パトロール点検表

点 検 日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

(株) 駒井興業 自主安全点検パトロール表

作業書名 _____

点検者： _____

項目	点 検 事 項	良否	項目	点 検 事 項	良否
労務安全書類 安全衛生管理体制	作業員健康診断実施（期限切れ等）		墜落災害	危険作業箇所の安全設備と安全带使用状況	
	施工計画書・作業手順書の提出、承認			危険が予想される場所の立入禁止措置	
	朝礼及び安全大会への全員参加			開口部の幅木・手摺・ネット・蓋等の設備	
	KYK・TBMの実施・掲示・提出			危険箇所・積載荷重等の標識表示	
	定例打合せ・安全衛生協議会への出席			安全通路・昇降設備の確保がされているか	
	新規入場者教育の実施・記録の有無			落下防止の水平養生は良いか	
	提出書類の作成及び変更事項の届出			崩壊・倒壊の防止措置は良いか	
	作業日誌・ミーティング日報の記載・提出			脚立足場の三点支持・2m未満	
	自主パトロールの実施と作業員への指導				
	くわえタバコ作業等の不安全行動		その他	持込機械の点検・届出はされているか	
	搬入材料の整理・整頓及び片付け状況			第三者災害防止対策は良いか	
	休憩所管理状況（ゴミ箱・消火器・清掃）			無断駐車・迷惑駐車はしていないか	
	高齢者・女子・年少者の配置状況			現場内資材の整理・整頓状況	
		オアシス運動は実施されているか			
クレーン	有資格者による玉掛け作業（免許携帯）				
	合図・無線は統一されているか				
	玉掛けワイヤーの点検実施・使用状況				
ガス	酸素・アセの逆火防止装置、ゲージ等				
	ボンベの保管状況・取扱責任者表示等				
	ボンベの空・充表示・消火器設備				
自社の改善・不安全状況・要望事項及びパトロール結果所見					
				現場キープラン	
				パトロール報告者	
					印